

# 京都市会だより

第44号

平成20年(2008年)

2月15日発行

発行/京都市会

編集/市会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上

TEL.075(222)3697

FAX.075(222)3713

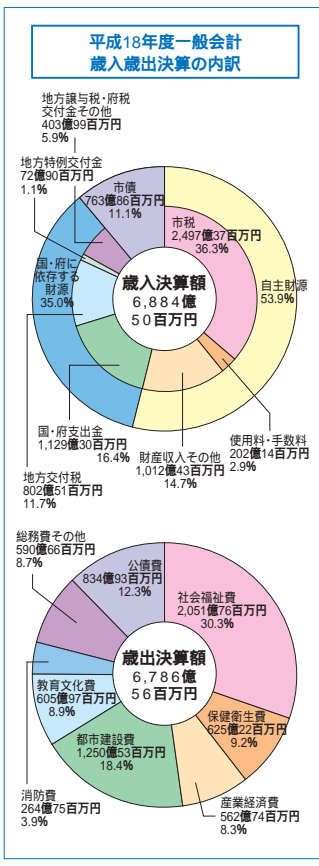
京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



北野天満宮の梅

## 平成18年度 一般会計決算を認定



今回審議した平成18年度一般会計歳入歳出決算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

歳入総額6千884億5千万円に対し、歳出総額は6千786億5千6百万円となり、歳入歳出差引額は97億9千4百万円の黒字ですが、翌年度へ繰り越すべき財源が90億8千6百万円あるため、実質収支は7億8百万円の黒字となっています。

平成18年度予算は、引き続き財政非常事態の下、財政健全化の道筋を一層確かなものにするため、前年度に引き続き、戦略的予算編成システムにより予算が編成され、総人件費の抑制など財政健全化プランに掲げる取組が強力に進められました。そのうえで、局裁量枠の圧縮により捻出した財源は、政策重点化方針に掲げる重点政策分野に配分されました。

1 実質収支  
歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額

2 単年度収支  
当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額

(今回審議したそのほかの主な議案は4面に掲載しています。)

予算の執行に際しては、組織一丸となり税収の確保に努めた結果、市税徴収率が8年連続で向上するなど、自主財源の拡充強化が図られるとともに、節減努力反映制度の創設など年間を通しての経費節減の取組が一層進められました。これらの結果、実質収支では2年連続の黒字決算となり、単年度収支も、2億7千7百万円の黒字となりました。

### 11月市会定例会

11月定例会は、11月16日から12月14日までの29日間開かれ、市長提出議案63件、議員提出議案12件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成18年度一般会計歳入歳出決算など決算14件については、普通決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。

また、平成19年度一般会計補正予算など3件については、二つの予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、可決しました。市営住宅条例の一部改正など議案35件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、控訴の提起など議案11件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、子どもたちの携帯電話利用に関する意見書など7件の議案を原案のとおり可決しました。

開催日	委員会	審議内容
11月16日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
11月20日	本会議	議案の処理、予算・決算特別委員会の設置、代表質問など
11月20日 ~12月3日 5日・13日	普通決算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計の決算の審査など
11月20日 12月6日 13日	普通予算特別委員会	正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
11月20日 12月6日 13日	公営企業等予算特別委員会	正副委員長の互選、病院事業特別会計補正予算の審査など
12月7日 10日 13日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
12月14日	本会議	決算などの議案、意見書の議決など